

教職員との懇談会アンケートのまとめ

平成 18 年 2 月 4 日
教育文化センターにて

「学習のことについて」

- “選択と総合” はゆとり教育の中での目玉となっているが、つくられて 5 年。かなり先生側親側ともに問題がでてきているので見直しが必要であると思われる。
- 先生方も「ゆとり教育」の害をわかっていらっしやって、なんでまだ続けるのかとあらためて思います。悪いと思うことははやく直してほしい。
- 先生方の本音を聞いてよかった。総合や選択授業が先生方に大きな負担になっているということがわかった。
- 選択授業のご苦勞を聞きまして保護者としては申し訳なく思います。子ども達が楽しめる時間をぜひ作って頂きたいと思います。
- 「ゆとり」の必要性をつくづく感じます。生徒の日常の生活を見ると、朝から夕方下校するまで時間に追いたてられクラブ活動を終えるまでゆっくり休憩している様子、のんびり友達と話したりする姿を見たことがありません。これで帰ってから塾に行っているのかと思うと、これが当たり前でいいのかと思えます。教育活動の調整を実践し指導していくなら今の現状を是正すべきだと思います。
- ゆとり教育が実際はゆとりがないとよくわかった。
- 教育論（学力・競争とは何か）について話を深めたい

「コミュニケーションについて」

- コミュニケーションは携帯・パソコン・ゲームなど自分の世界に入り、人と話をしなくなるので家出の会話が大切だと思います。
- コミュニケーションのとり方がうまくない。もっと親と子と先生が交流をもてる機会が増えるといいと思う。
- コミュニケーションについては、今の子どもたちの問題点を象徴していると思います。携帯電話に代表される会話のすり替え、ゲーム・PC への没頭によるコミュニケーションの不足は、今の社会状況を反映しています。教師を含めた保護者の子どもに対する会話のきっかけや、つくり出す努力が望まれるのではないのでしょうか。
- 各校で懇談会ができればいいと思った。

「その他」

- 分散会とても参考になりました。もう少しお話ししたかった位です。先生方も本音でお話ししていただけたのではと思います。
- 選択授業については、その良さと難しさを知ることができました。集まった子たちの状態にあまり左右されない授業のあり方を考えないといけないかもしれません。
- 前回の懇談会より有意義な話しができたと思います。
- 前回の懇談会よりも踏み込んだ内容になっていたので話を聞いて有意義だった。塾もコミュニケーションもどちらも問題の根は深いところにあるようですね。これからの子どもたちの育まれる環境が心配です。

- ・学校では聞くことができない先生方の本音にびっくりしました。
- ・学校では先生方は無理だとかきついかしんどいとは決しておっしゃいません。やはりなあというのが実感でした。何もされずにではなく、努力されて、熱い思いで教員として子ども達と関わりながらも様々な問題をかかえてらっしゃると思います。
- ・いろんな学校の先生方と保護者の方たちとお話しができて、大変有意義な時間を過ごすことができました。
- ・分科会の人数が夏より少なくなり、話しやすくなったように思いました。アットホームな雰囲気でしたので話しかけやすかったのではないのでしょうか。
- ・時間がたっぷりあったので有意義な話しを聞けました。これからの保護者+先生方にいかしていければと思います。
- ・親としてできる部分と学校でなければ習得できない部分、それぞれがしっかり役割分担できれば、そこに地域の力が加われば・・・
生徒の人間形成に大きな力となることでしょう！
- ・1クラスの人数を減らしてほしい。20人以内にしてほしい。教職員の希望であるとわかった。いっぱいいっぴいの教育を押しつけない。
- ・分散会のおわりの方で、お母さん方がかかえている悩み、子育てや多発する非行などで、なかなか表に出せなくてかかえこんで苦しんでいる方の声が出されていました。子育てや教育が親や家庭の「責任」とされて、勉強や進路についての不安があおられる中で、ますます親が孤立し、追い込まれているように思います。
学校や教育の問題を考える上で、こういった切実な声を共有し合って出発的にしていくべきではないのでしょうか。
- ・先生方の意見や生の声が聞けてよかった、勉強になった。(多数)
- ・時間に余裕を持って話しをできたので、分散会を先にされてよかったです。
- ・分散会の報告は各G短めにしたほうが良い。
- ・次年度はその方向(各校で懇談会)で4月?から動いていけたら実り多いものになると思います。

「次年度のテーマについて」

- ・今回のテーマを引き続き掘り下げて話し合う必要があるのでは？
- ・クラブ活動について(ほか1通)
- ・校区弾力化による事で学校の魅力で選択することについての話し合い
- ・「子どもが大笑いするときはどんな時でしょう?」「家族で大笑いするときはありますか?」
- ・競争をさせることの意義について(ほか1通)
- ・オープンクラスの有効活用
- ・PTAと学校の関わり方について
- ・学校と塾との関係をもっとくわしく話しをしたい
- ・中学校での性教育について
- ・子どもにどんなことを教えていけばいいのか?(世の中の価値観・ものの考え方)